

「殺生石」物語考

物語の考察①

九尾の狐に関するこの壮大で妖しげな物語は、あくまでもフィクションである。原案は、何時誰が作ったのか判然としない。

江戸時代には、物語は完成している。高井蘭山の「繪本三國妖婦傳」はその最たるもので、読者にはそのあらましをすでに紹介した。この時代にはその他、単調作の「勸化白虎通」、作者不詳の「悪狐三國伝」、岡田玉山の「繪本玉藻譚」、山東京伝の「糸車九尾狐」、式亭三馬の「玉藻前龍宮物語」及び「玉藻前三國伝記」、五柳亭の「三國妖狐殺生石」等々がある。

この物語りは又、紀海音によつて浄瑠璃「殺生石」となり、近松梅松軒らは、「繪本増補玉藻前臈袂」を上演して人気を取った。歌舞伎においても、鶴屋南北作の「三國妖婦傳」「玉藻前尾花錦絵」「玉藻前御園公服」などが、江戸市川座や河原崎座で上映された。これより昔室町時代には、佐阿弥安清に

よつて謡曲「殺生石」が生まれ、能舞台にかけられている。

この怪奇な物語が形成される過程の文献を時系列的にあげると、平安時代の大江匡房の記した「狐媚記」に遡る。これは、康和三年(一一〇一)の平安の都に起きた、狐に関する怪奇を記述したものである。その文末で大江は、殷の妲己となった九尾の狐に触れ、平安以前の日本においても、そのようなことが見て取れると付け加えている。

その後時代が下がり、室町初期、作者不詳の「神明鏡」、東麓破納の「下学集」、臨濟僧による「臥雲日件録」等々に、妖狐についての記述が散見できる。一つの物語としてまとまるのは、文明二年(一四七〇)に書かれた作者不肖の「玉藻草子」であり、これがやがて、前述した江戸時代の作品へと繋がり、多くの作者を経て、それぞれに完成されたと思われる。



筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏寿 先生(湯本在住)

今月のひとこと

書き初めの大会場は賑わいて
手を汚す子や顔汚す子や

かつこう

表紙のロゴマークの違いに気づいたでしょうか。1次産業×2次産業×3次産業⇨6次産業から「X」をロゴマークにつけてみました。今年も農産物だけでなく、6次産業も不定期に取り上げていきます。町の農業にもっと興味関心を深めていただけるように、今年も気合いを入れて記事を書きます。

①飯

こんにちは

赤ちゃん



高久 ひなた 陽多くん (大石)

平成30年 11月30日

父 直人さん 母 成美さん

陽多くんは…

誰にでもニコニコ笑顔で、テレビのわんわんが大好き！一緒に踊ったり、歌を聴くと手拍子をして喜びます。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課秘書広報係(☎72-6901)まで。

新しい年の始まりです。新年最初の「広報那須」、今年もたくさんの方に読んでいただけよう、1月号から新コーナーや内容のグレードアップ、デザインの変更などしています。今月の「おいしい那須めぐり」(30頁)の取材では、常に目標に向かつて手間暇かけ、自分にしか作れないそばを追求するその姿勢からたくさんのごことを学びました。自分たちにしか作れない「広報那須」を目指して…。

②米

卒業して何十年と経っていても、意外と歌えてしまう母校の校歌。耳の底、心の奥に残っているのだろう。昭和時代に閉校になった校歌の収録では(28頁)、何度も練習を重ね、より良いものを後世に残したいという参加者たちの思いが伝わってきた。学校のこと、子ども時代のこと、生まれ育った故郷のこと。様々な思い出と結びついている校歌を、地域の文化として引き継いでいくことの大切さを感じた。

③高

町の世帯と人口

・世帯数 10,374世帯 (0)
(12月1日現在・住民基本台帳)
・人口 25,090人 (-14)
()の数字は前月比 男 12,482人(-8) 女 12,608人(-6)

あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。